

パターン配本はありません。希望する部数での事前指定をお願いします。

映画・芸術書 ご担当者様

5月17日頃 取次搬入予定

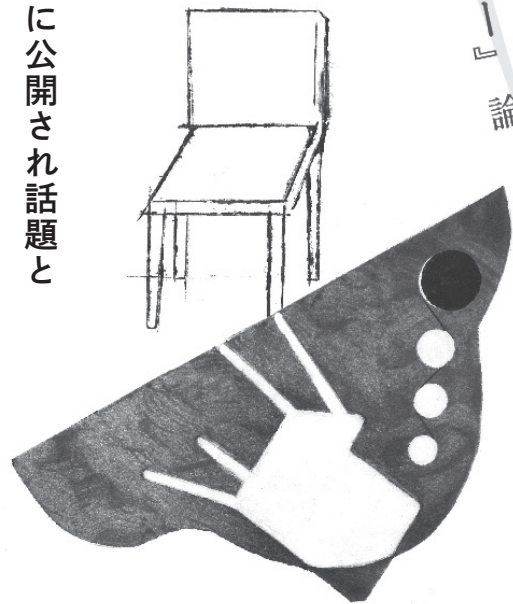
ISBN 978-4-904702-70-3 / C0074 / 四六判 並製 176頁 / 本体価格 2,200円

[主要目次]

- 序
- 第一章 重心
- 第二章 台詞
- 第三章 変化
- 結論

『ハッピーアワー』のあとに見たい映画リスト

2015年に公開され話題となった、濱口竜介監督の映画『ハッピーアワー』（5時間17分）の映画的仕組みの深さと魅力を丁寧かつスリリングに解き明かし、映画史の中に位置づける。渾身の意欲作。



三浦哲哉 (みうらてつや)

1976年生まれ。青山学院大学准教授。映画批評・研究、表象文化論。著書に『映画とは何か——フランス映画思想史』（筑摩選書、2014年）、『サスペンス映画史』（みすず書房、2012年）。共著に『ひきずる映画——ポスト・カタストロフ時代の想像力』（フィルムアート社、2011年）。訳書に『ジム・ジャームッシュ・インタビューズ——映画監督ジム・ジャームッシュの歴史』（東邦出版、2006年）。月刊『みすず』誌上で「食べたくなる本」連載中。最新刊に、石岡良治との共編著『オーバー・ザ・シネマ 映画「超」討議』（フィルムアート社、2018年）。

見終えたあと、  
外の世界が  
まあたらしく見えてくる。

映画批評家・三浦哲哉による、  
書下し『ハッピーアワー』論。

\*2018年5月中旬

映画『ハッピーアワー』Blu-ray 発売予定！

羽鳥書店

東京都文京区千駄木 1-22-30 ザ・ヒルハウス 502 〒113-0022  
TEL 03-3823-9320 [担当: 矢吹]

FAX 03-3823-9321

番線印		書名	著者	本体	ISBNコード	冊数
新刊		『ハッピーアワー』論	三浦哲哉	2,200円	978-4-904702-70-3	
既刊		円山町瀬戸際日誌 名画座シネマヴェーラ渋谷の10年	内藤 篤	2,400円	978-4-904702-59-8	
		論集 蓮實重彦	工藤庸子編	5,400円	978-4-904702-61-1	
*『論集 蓮實重彦』には27名の執筆陣の一人として「映画からこぼれ落ちそうになる男」を寄稿。						

ご担当者名 配本の都合上5月9日までにご返信くださるようお願いいたします。

【取次】日販・大阪屋栗田・八木書店・大学図書 \*トーハン他にも納品します。(返条付注文扱)